

AED（自動体外式除細動器）

AEDは心停止の人を救命する医療機器です。

AEDとは



- 心臓に電気ショックを与えることで、けいれんした心臓を正常な状態に戻します。
- 電気ショックが必要かどうかAEDが判断します。
- 音や声や光で案内する為、一般の方でも救命活動を行えます。



心停止って？



心停止

心臓がけいれんしていて、心臓から正常に血液を送り出すことができない状態を指します。

心静止

心臓がとまってしまって、もう動かない状態。

心臓が完全にとまってしまう前に、一刻も早くAEDを使うことが重要！！

救命手順



意識・呼吸 確認！



胸骨圧迫



AED装着

大声で呼びかけて意識がなければ、応援を呼び、119番とAEDの手配を。
(10秒以内で)胸と腹部の動きを確認。



ひじを伸ばし、垂直に体重をかけ、1分間に100～120回のテンポで強く速く胸を押す。（成人は約5cm沈むように）AEDが到着するまで続ける。
人工呼吸が可能なら…
胸骨圧迫30回+人工呼吸2回を続ける。



装着後は、本体の音声ガイドに従う。救急隊が来るまで本体の電源を切らずに除細動パッドをつけたままにし、音声ガイドに従う。



操作手順



機種によって違いはありますが、基本的な操作はシンプルです。

① 電源ON



② 除細動パッドを貼る



③ 通電

電源を入れる。
音声ガイドが流れる。

イラストの案内のとおり、除細動パッドを貼る。
器械が解析するのを待つ。



ショックが不要と判断された場合は、電気は流れない。
ガイドに従って、通電、胸骨圧迫を救急隊が到着するまで繰り返す。

操作手順は3ステップ！どなたでも操作可能です！

心停止は身近なもの



心停止を起こしている人は、**1日に約200人**とされています。
これは、**交通事故の死者数に比べて約23倍**です。

突然の心停止を起こした方の救命率は、**除細動が1分間遅れるたびに約10%の割合で低下**します。

救急車が到着するまでの間、**現場でAEDを使った救命措置が重要**となります。

当院の設置場所は2か所



- 1階 再来機横
 - 2階 検査科内
必要時、検査科へお声掛け下さい。
- 普段よく行く場所や何気ない風景の中で、AEDを探してみましょう。

